

平成31年度（令和元年度）

事 業 報 告 書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

## 1 事業活動方針

障がい者の積極的なスポーツ活動を通じて、障がい者スポーツの普及・振興に努めるとともに、障がい者の心身の健康増進及び機能回復を図ることにより、社会参加を促進し、障がい者福祉の向上に寄与した。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を間近に控え、選手・指導者等の育成及び競技の普及・振興を一体的に推進し、障がい者スポーツのトップレベルの選手育成と裾野拡大を図るための取組を実施した。

## 2 事業内容（概要）

### (1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

障がい者が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境を整備するとともに、県障がい者総合体育大会等を開催するなど、競技を通じたスポーツの楽しさを体験してもらうことで、障がい者の社会参加の促進を図った。

#### ① 障がい者団体スポーツ活動支援事業

- ・県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成 8件
- ・県内新規障がい者スポーツ団体への助成 1件

#### ② 福島県障がい者総合体育大会開催事業

期 日：令和元年5月19日(日) 会 場：郡山市ほか  
参加者：11競技 1,454名

#### ③ 全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業

※台風19号の影響により大会中止となった。

予定期日：令和元年10月10日(木)～15日(火)

→実績：令和元年10月10日(木)～11日(金)

派 遣 先：茨城県

派遣予定人数：103名（選手65名、役員38名） →実績：63名

#### ④ 北海道・東北ブロック予選会開催事業

【バレーボール競技（精神障がい者の部）】

期 日：令和元年6月8日(土) 会 場：猪苗代総合体育館「カメリーナ」  
出場チーム：計6チーム

【バスケットボール競技（知的障がい者の部）】

期 日：令和元年6月15日(土)～16日(日) 会 場：あづま総合体育館

出場チーム：男子 計5チーム

女子 計6チーム

### (2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

障がい者が安心してスポーツに取り組める環境を整備するため、障がい者スポーツ指導員の指導技術を高めるほか、事業の企画・運営など地域の特色に合わせたマネジメントができる指導員の育成を図った。

#### ① 初級指導者養成講習会開催事業

期 日：令和元年7月13日(土)～15日(月) 会 場：郡山市障害者福祉センター  
受講者：25名

- ② 障がい者スポーツ指導員育成支援事業（中級・上級資格取得のための支援）
  - ・中級障がい者スポーツ指導員養成講習会へ2名派遣
  - ・障がい者スポーツトレーナー講習会へ1名派遣
- ③ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業  
福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会の開催  
期 日：令和元年7月14日(日) 会 場：郡山市障害者福祉センター
- ④ 障がい者スポーツ医科学サポート事業
  - ・各大会への障がい者スポーツ医の派遣
  - ・障がい者スポーツ医科学委員会の開催
  - ・各種学会での発表
  - ・普及・啓発資料の作成

### （3）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・強化に資する取組を支援し、継続してスポーツをする環境の整備を図った。

- ① 選手指導者組織育成支援事業  
パラリンピックを目指す選手（1名）への支援
- ② 団体競技強化支援事業  
5競技団体に助成

### （4）障がい者スポーツ選手の競技力の向上

2020年東京パラリンピックの開催決定により、障がい者スポーツ振興の盛り上がりを見せるこの機会に、障がい者の積極的な活動を通じた社会参加、自立を促進するため、選手・指導者の育成強化と競技の普及・振興を一本化し、トップレベルの選手の輩出と障がい者スポーツの裾野の拡大を図った。

- ① 各種助成事業
  - ・国際大会等出場助成 個人競技延べ6名
  - ・全国スポーツ競技会等出場助成 団体競技延べ10団体、個人競技延べ4名
- ② 運動導入教室開催事業  
全69回実施、延べ1,215名参加
- ③ 地域スポーツ教室開催事業  
県内6方部で開催する各教室や大会等に対し助成
- ④ 種目別スポーツ教室開催事業  
全13種目、全69回実施、延べ1,507名参加
- ⑤ 各障がい者スポーツ大会支援事業  
7大会開催費用に対し助成
- ⑥ ふくしまパラアスリート支援事業  
パラアスリート指定者15名に対し助成

#### (5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

協会広報紙及びリーフレットを発行し広く情報発信を行ったほか、ホームページ等を活用し、障がい者スポーツのあらゆる情報について情報提供を行った。

- ① 協会広報紙（令和元年度版）の発行
- ② 協会の取組を広く紹介するリーフレットの作成と発行

#### (6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に出席し情報収集を図ると共に、前例のない障がい等に対応する競技用具の研究開発に当たった。

- ① 各種障がい者スポーツに関する会議等への出席 2件
- ② 日本障害者スポーツ学会への参加 1件

#### (7) その他の事業

自治体及び企業等が主催する障がい者を含めた事業に対し、障がいをお持ちの方が安心して参加するため、主催者に対し助言・支援を行った。

また、学校教育における障がい者スポーツ関連授業等に対し、講師の派遣を斡旋するなどの協力を行い、障がい者スポーツ・福祉への理解を深めた。

#### (8) 協会の運営

障がい者スポーツの中核的組織である本協会の適切かつ安定した運営を図るため、理事会、評議員会を開催したほか、専門家（税理士）による財務会計関係の助言等を受けられる体制を整えるなど、運営体制の強化を図った。

### 3 事業内容（詳細）

#### 【公益事業】（1）障がい者スポーツの大会の開催及び奨励

事業名	①障がい者団体スポーツ活動支援事業	決算額	273,047 円
目的	障がい者のスポーツを通じた社会参加や日常生活の充実を促進するため、各障がい者団体等が行うスポーツ活動に対し助成する。		
内容	<p><b>事業概要</b></p> <p>本県障がい者スポーツの推進に寄与している、障がい者を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成する。</p> <p><b>平成31年度（令和元年度）実績</b></p> <p>（1）県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成 助成先：8 団体 助成額：145,625 円</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・喜多方市身体障がい者福祉会（20,000 円）</li><li>・県シッティングバレーボール協会（20,000 円）</li><li>・石川地方身体障がい者福祉会（20,000 円）</li><li>・南会津郡身体障がい者福祉会（5,625 円）</li><li>・特定非営利法人川俣町セルフかえで（20,000 円）</li><li>・相馬身体障がい者福祉会（20,000 円）</li><li>・おのさくらスポーツクラブ（20,000 円）</li><li>・TEAM まきばの朝（20,000 円）</li></ul> <p>（2）県内新規障がい者スポーツ団体への助成 助成先：1 団体 助成額：100,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・Let`s にしごうクラブ</li></ul>		
参考			

事業名	②福島県障がい者総合体育大会開催事業	決算額	3,163,489円																																				
目的	<p>障がい者が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加意識と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がい者に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>なお、本大会は第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ大会）個人競技の予選を兼ねるものとする。</p> <p>ただし、全国大会派遣種目、選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定する。</p>																																						
内容	<p><b>大会概要（実績）</b></p> <p>期日：令和元年5月19日（日）</p> <p>競技種目・会場：11競技・会場は以下のとおり</p> <p>参加者：選手1,454人、大会・競技役員294人、補助員362人</p> <table border="1" data-bbox="408 860 1393 1408"> <thead> <tr> <th>競技種目</th> <th>障がい種別</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陸上競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>郡山市開成山陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>フライングディスク競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>田村市陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>卓球競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>郡山市西部体育館</td> </tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス競技</td> <td>身体</td> <td>郡山市障害者福祉センター訓練室</td> </tr> <tr> <td>アーチェリー競技</td> <td>身体</td> <td>会津若松市白龍山泰雲寺 アーチェリーレンジ</td> </tr> <tr> <td>サッカー競技</td> <td>知的</td> <td>郡山市熱海フットボールセンター</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール競技</td> <td>知的</td> <td>郡山市総合体育館</td> </tr> <tr> <td>車椅子バスケットボール競技</td> <td>身体</td> <td>郡山市障害者福祉センター体育室</td> </tr> <tr> <td>バレーボール競技</td> <td>身体</td> <td>郡山市総合体育館</td> </tr> <tr> <td>水泳競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>本宮市市民プール</td> </tr> <tr> <td>ボッチャ競技</td> <td>身体</td> <td>福島県立郡山支援学校</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>運営委員会</b></p> <p>平成31年4月18日 第57回大会 第2回運営委員会</p> <p>令和2年2月3日 第58回大会 第1回運営委員会</p>			競技種目	障がい種別	会場	陸上競技	身体・知的・精神	郡山市開成山陸上競技場	フライングディスク競技	身体・知的・精神	田村市陸上競技場	卓球競技	身体・知的・精神	郡山市西部体育館	サウンドテーブルテニス競技	身体	郡山市障害者福祉センター訓練室	アーチェリー競技	身体	会津若松市白龍山泰雲寺 アーチェリーレンジ	サッカー競技	知的	郡山市熱海フットボールセンター	バスケットボール競技	知的	郡山市総合体育館	車椅子バスケットボール競技	身体	郡山市障害者福祉センター体育室	バレーボール競技	身体	郡山市総合体育館	水泳競技	身体・知的・精神	本宮市市民プール	ボッチャ競技	身体	福島県立郡山支援学校
競技種目	障がい種別	会場																																					
陸上競技	身体・知的・精神	郡山市開成山陸上競技場																																					
フライングディスク競技	身体・知的・精神	田村市陸上競技場																																					
卓球競技	身体・知的・精神	郡山市西部体育館																																					
サウンドテーブルテニス競技	身体	郡山市障害者福祉センター訓練室																																					
アーチェリー競技	身体	会津若松市白龍山泰雲寺 アーチェリーレンジ																																					
サッカー競技	知的	郡山市熱海フットボールセンター																																					
バスケットボール競技	知的	郡山市総合体育館																																					
車椅子バスケットボール競技	身体	郡山市障害者福祉センター体育室																																					
バレーボール競技	身体	郡山市総合体育館																																					
水泳競技	身体・知的・精神	本宮市市民プール																																					
ボッチャ競技	身体	福島県立郡山支援学校																																					
参考																																							

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業	決算額	3,756,591円
目的	福島県障がい者総合体育大会に出場した選手のうち、選手選考会議を経て、本県代表選手を派遣する。また、同予選会を優勝した団体競技を全国障害者スポーツ大会に派遣する。		
内容	<p><b>「第19回全国障害者スポーツ大会」選手選考会議</b>  期日：令和元年6月5日（水）  会場：県庁内会議室</p> <p><b>「第19回全国障害者スポーツ大会」派遣に関する業務</b>  <b>※台風19号の影響により大会が中止となったため、当初の派遣予定及び実績は以下のとおり。</b></p> <p><b>派遣期間：</b>  <b>【予定】</b> 令和元年10月10日（木）結団式、出発  11日（金）公式練習  12日（土）開会式  13日（日）2日目  14日（月）閉会式  15日（火）帰県（解団式）  <b>【実績】</b> 令和元年10月10日（木）結団式、出発（※中止決定）  11日（金）帰県</p> <p><b>派遣人数：</b>  <b>【予定】</b> 103名（選手65名、役員38名）  <b>【実績】</b> 63名（陸上、フライングディスク、卓球、車いすバスケットボール競技選手団（一部選手・役員を除く）  ※上記競技以外については、10日出発前に中止が決定した。）</p> <p><b>出場競技：</b>  <b>【予定】</b>  ○個人競技：5競技  陸上競技（身・知）、水泳（身・知）、アーチェリー（身）、卓球（身・知・精）（サウンドテーブルテニス（身）を含む）、フライングディスク（身・知）  ○団体競技：3競技  車椅子バスケットボール（身）、グランドソフトボール（身）、バレーボール（身）</p>		
参考	※今大会より卓球競技に精神障がい者部門が導入された。		

事業名	④北海道・東北ブロック予選会開催事業	決算額	791,973 円
目的	全国障害者スポーツ大会予選会である北海道・東北ブロック予選会を福島県内で開催する。		
内容	<p><b><u>大会概要（実績）</u></b></p> <p><b><u>【バレーボール競技（精神障がい者の部）】</u></b>  期 日：令和元年6月8日(土)  会 場：猪苗代総合体育館「カメリーナ」  出場チーム：  青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 計6チーム  (選手等参加者数75名、主催者関係者数51名 計126名)  大会結果：優勝 青森県、準優勝 岩手県、第3位 秋田県</p> <p><b><u>【バスケットボール競技（知的障がい者の部）】</u></b>  期 日：令和元年6月15日(土)～16日(日)  会 場：あづま総合体育館  出場チーム：  男子・・・北海道、岩手県、秋田県、福島県、札幌市 計5チーム  女子・・・北海道、岩手県、秋田県、福島県、札幌市、仙台市 計6チーム  (選手等参加者数148名、主催者関係者数105名 計253名)</p> <p>大会結果：男子・・・優勝 秋田県、準優勝 札幌市、第3位 岩手県  女子・・・優勝 秋田県、準優勝 福島県、第3位 北海道</p>		
参 考	北海道、東北各県及び政令指定都市持ち回りで開催。 令和2年度は福島県での開催予定はなし。		



【公益事業】(2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級指導者養成講習会開催事業	決算額	279,665 円
目的	障がい者スポーツ指導者を養成し、県内各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与することを目的に、福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会を実施する。		
内容	<p><b>平成31年度福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会の開催</b>  <b>開催概要（実績）</b></p> <p>期 日：令和元年7月13日(土)～15日(月)          会 場：郡山市障害者福祉センター          受講者：25名          共 催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会          後 援：(公財)福島県体育協会、(公財)日本障がい者スポーツ協会</p> <p><b>講習カリキュラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者制度について 〔(公財)福島県障がい者スポーツ協会〕</li> <li>・全国障害者スポーツ大会について 〔福島県障がい者スポーツ指導者協議会〕</li> <li>・障がいに応じたスポーツの導入・工夫・実施</li> <li>・障がい者スポーツの意義と理念 〔(一社)コ・イノベーション研究所〕</li> <li>・ボランティア論、安全管理 〔仙台市障がい者スポーツ指導者協議会〕</li> <li>・選手との交流 〔日本ボッチャ協会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会〕</li> <li>・障がいの理解とスポーツ1 〔福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター〕</li> <li>・障がいの理解とスポーツ2・3 〔福島県障がい者スポーツ指導者協議会〕</li> <li>・障がい者福祉施策と障がい者スポーツ 〔福島県障がい者スポーツ指導者協議会〕</li> </ul>		
参 考	福島県スポーツ推進計画において、障がい者スポーツ指導員の増員を提唱されている。また、教育関係者が受講しやすいよう教育委員会と「共催」としている。		

事業名	②障がい者スポーツ指導員育成支援事業 (中級・上級資格取得のための支援)	決算額	303,093 円
目的	上級資格取得、専門資格取得講習会に指導者を派遣し、専門指導の知識を高め、指導者に対する指導ができる指導者及び安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導者を養成する。		
内容	<p><b>事業概要 (実績)</b></p> <p>指導者が上級・専門資格取得のため講習会等に参加する際の必要経費について助成を行った。</p> <p><b>【中級障がい者スポーツ指導員養成講習会】</b>  →受講した初級指導員 <b>2名</b> に助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日：【前期】令和元年7月10日(水)～14日(日)</li> <li style="padding-left: 2em;">【後期】令和2年1月22日(水)～26日(日)</li> <li>・会 場：とちぎ福祉プラザ 障がい者スポーツセンター</li> </ul> <p><b>【障がい者スポーツトレーナー講習会】</b>  →受講した <b>1名</b> に助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 日：【第1次講習会】令和元年8月9日(金)～11日(日)</li> <li style="padding-left: 2em;">【第2次講習会】令和2年2月6日(木)～9日(日)</li> <li>・会 場：障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール</li> </ul>		
参 考			

事業名	③福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業	決算額	0円
目的	<p>専門指導力及び選手の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するため、当協会内部組織である「福島県障がい者スポーツ指導者協議会（専門部による指導者への指導、競技部による専門競技団体との連携及び各支部による地域スポーツの振興）」の運営を支援する。</p>		
内容	<p><b>事業概要（実績）</b></p> <p>（１）福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会 期 日：令和元年7月14日(日) 会 場：郡山市障害者福祉センター</p> <p>（２）役員会の開催 2か月に一度の役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施</p> <p>（３）各部会（各部運営委員会）の開催 3か月に一度、各部会の開催</p>		
参考	自主事業		



【公益事業】（３）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	①選手指導者組織育成支援事業	決算額	0円
目的	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。また、専門競技の障がい者スポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援が必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
内容	<p><b>事業概要（実績）</b></p> <p>選手、役員、競技団体に対し、人材育成支援、組織運営支援、選手発掘・育成に関わる支援協力を行い競技環境の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラリンピックを目指す選手への支援</li> <li>橋本 勝也（ウィルチェアーラグビー競技）</li> </ul>		
参考	<p>自主事業 過去の支援実績</p> <p>平成 8年：知的障害者バスケットボール普及 平成 8年：フライングディスク、ボッチャ競技普及開始 平成 9年：冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成） 平成12年：福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立 平成16年：車椅子バスケットボール日本代表育成 平成21年：福島県障がい者陸上競技協会再編支援 平成23年：福島県障がい者アーチェリークラブ支援 平成25年：水泳選手育成支援 平成27年：陸上競技選手の競技用車椅子シーティング作成 平成28年：パラバドミントン選手支援 平成30年：ボッチャ競技選手支援</p>		

事業名	②団体競技強化支援事業	決算額	1,845,251 円
目的	全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等への参加や強化合宿等の実施に必要な費用を支援し、団体競技に取り組む障がい者アスリートの競技力向上を図る。		
内容	<p><u>事業概要（実績）</u> →計5競技団体を支援</p> <p>(1) 知的バスケットボール競技（福島県F I Dバスケットボール連盟） ・第19回全国障害者スポーツ大会 北海道・東北ブロック予選会 ・新潟遠征合宿 ・長野遠征</p> <p>(2) 知的サッカー競技（福島県障がい者サッカー連盟） ・第19回全国障害者スポーツ大会 北海道・東北ブロック予選会 ・強化練習会 ・栃木遠征</p> <p>(3) グランドソフトボール競技（福島県視覚障がい者福祉協会） ・第19回全国障害者スポーツ大会 北海道・東北ブロック予選会 ・強化練習会</p> <p>(4) 車いすバスケットボール競技（福島県車椅子バスケットボール連盟） ・第19回全国障害者スポーツ大会 北海道・東北ブロック予選会 ・強化練習会 ・新潟遠征 ・群馬遠征</p> <p>(5) 精神バレーボール競技（社会医療法人一陽会 一陽会病院） ・第19回全国障害者スポーツ大会 北海道・東北ブロック予選会</p>		
参考			

【公益事業】（４）障がい者スポーツ選手の競技力の向上

事業名	①各種助成事業	決算額	525,352 円
目的	<p>パラリンピック、デフリンピックなどに日本代表として出場する選手・役員に対して激励金を贈呈する。</p> <p>競技力向上を目指す選手・役員に対して、全国大会等に出場する選手に対して助成をし、財政的支援を行う。</p>		
内容	<p><b>事業概要（実績）</b></p> <p>（１）国際大会等出場助成事業</p> <p>国際大会に出場する<u>個人競技選手及びスタッフ延べ6名</u>に対し、激励金を支給した。</p> <p>野村 潤 2019女子U25世界選手権          菊地 武志 第4回世界ろう者ボウリング選手権大会          國分 金寿 同上          國分 基子 同上          國分 金寿 第9回アジア太平洋ろう者競技大会          國分 基子 同上</p> <p>（２）全国スポーツ競技会等出場助成事業</p> <p>各競技種目の全国大会及び東北大会に出場する<u>個人競技選手延べ4名及び団体競技延べ10団体</u>に対し、経費の一部を助成した。</p> <p>●個人競技</p> <p>伊藤 洋美 第29回東北身体障がい者選手権水泳競技大会          同 上 第14回東北ブロック視覚障がい者 STT 大会          同 上 第36回日本パラ水泳選手権大会          佐藤 駿弥 2020パラ水泳春季記録会兼2020日本代表選考会</p> <p>●団体競技</p> <p>TEAMEARTH ・第47回日本車いすバスケットボール選手権大会東日本2次予選会          同 上 ・第48回日本車いすバスケットボール選手権大会東日本1次予選会          福島パラ陸上競技協会 ・第30回日本パラ陸上競技選手権大会          同 上 ・2019日本ID陸上競技選手権大会          福島アクロス ・第27回全国身体障害者野球大会          同 上 ・第48回東北身体障害者野球大会          福島県聴覚障害者協会 ・第50回東北ろうあ者体育大会          同 上 ・第53回全国ろうあ者体育大会          みんなでスポーツ ・第23回全日本障害者・高齢者フライングディスク競技大会          ブディッカー ・第23回日本パラバレーボール選手権大会</p>		
参考	自主事業		

事業名	②運動導入教室開催事業	決算額	1,362,221 円
目 的	<p>障がい者（中途障がい者含む）が運動・スポーツに接する機会が少ないことから、障がい者スポーツへの理解促進等を図ることを目的とし、障がい者が運動を始める機会の提供や医事、スポーツ障がい予防、補装具等についての相談・指導を行う。</p>		
内 容	<p><b>事業概要（実績）</b></p> <p>障がい者が運動等を始める際の医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行った。</p> <p>（１）実施期日  平成31年4月4日～令和2年2月27日  郡山会場：毎週木曜日、毎月第1日曜日開催  福島会場：隔週火曜日開催</p> <p>（２）実施回数  全69回実施</p> <p>（３）実施場所  郡山会場：郡山市障害者福祉センター  福島会場：NCV ふくしまアリーナ</p> <p>（４）参加者数  延1,215名参加</p> <p>（５）指導員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法士2名（障がい者スポーツ指導員有資格者）</li> <li>・整形外科医1名（障がい者スポーツ医有資格者）</li> <li>・補装具アドバイザー1名（障がい者スポーツ指導員有資格者）</li> <li>・自動車整備士1名（障がい者スポーツ指導員・福祉自動車整備士有資格者）</li> <li>・障がい者スポーツ指導者2名（スポーツコーチ、中級等上級資格者）</li> </ul>		
参 考			



事業名	③地域スポーツ教室開催事業	決算額	1,087,340 円
目的	地元自治体や障がい者スポーツ指導者協議会各支部と連携し、身近な地域でスポーツに親しむ環境づくりを推進する。		
内容	<p><b>事業概要（実績）</b></p> <p>地区スポーツ教室・大会開催・講習会の開催費用等を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県北支部 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ教室：10回開催</li> <li>チャレンジカップ2019：1回開催</li> </ul> </li> <li>○県中支部 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ教室：9回開催</li> <li>エンジョイスポーツフェスティバル：1回開催</li> </ul> </li> <li>○県南支部 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ教室：9回開催</li> </ul> </li> <li>○会津支部 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ教室：20回開催</li> <li>会津障がい者スポーツ大会：1回開催</li> </ul> </li> <li>○相双支部 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ大会：7回開催</li> </ul> </li> <li>○いわき支部 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ大会：10回開催</li> <li>いわきスポーツフェスティバル：1回開催</li> </ul> </li> </ul> <p>各種教室 延65回開催</p> <p>各種大会 延4回開催</p> <p>参加者数 延2,049名</p>		
参 考			

事業名	④種目別スポーツ教室開催事業	決算額	2,646,800 円
目 的	<p>障がい者が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催する。各競技団体等と連携して共同開催とし、選手の育成・強化と普及・拡大を一体的に取り組むことに加え、一部の競技種目では中央競技団体等から講師を招き、全国大会等各種大会に出場できる選手の育成及び競技力の向上を図る。</p>		
内 容	<p><b>事業概要（実績）</b></p> <p>障がい者が運動スキルの基礎を楽しく身につけ、得意分野を発見できるようにさまざまな種目のスポーツ教室を開催した。</p> <p>障がい者が各スポーツ競技団体と交流することで、競技への参加を促進し、各種大会への出場などそれぞれの目標に向かい、生きがいをもつことができるよう機会の提供を図った。</p> <p>●実施競技種目 13種目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①陸上 全12回 参加者数延346名</li> <li>②フライングディスク 全9回 参加者数延379名</li> <li>③サッカー 全8回 参加者数延240名</li> <li>④ボッチャ 全9回 参加者数延110名</li> <li>⑤卓球 全4回 参加者数延36名</li> <li>⑥バスケットボール 全9回 参加者数延248名</li> <li>⑦サウンドテーブルテニス 全4回 参加者数延55名</li> <li>⑧アーチェリー 全3回 参加者数延8名</li> <li>⑨水泳 全4回 参加者数延12名</li> <li>⑩バドミントン 全2回 参加者数延14名</li> <li>⑪クロスカントリースキー 全1回 参加者数延22名</li> <li>⑫ハンドバイク 全3回 参加者数延17名</li> <li>⑬ソーシャルフットボール 全2回 参加者数延20名</li> </ul>		
参 考			

事業名	⑤各障がい者スポーツ大会支援事業	決算額	498,960 円
目 的	<p>県内の各障がい者スポーツ競技団体は財政的に苦しい状況にあるが、選手に練習の成果を発揮する場及び実戦を通じた競技力向上を図るため、各種大会を開催していることから、県内で開催される各競技種目の大会開催に要する費用を支援する。</p>		
内 容	<p><b>事業概要（実績）</b></p> <p>県内で開催される各競技種目の大会に対して開催経費の一部を助成した。障がい者スポーツ団体が財政的に苦しいなかで開催している大会を支援することで、県内で競技会に参加できる機会の確保を図った。</p> <p>●対象大会 7大会</p> <p>①2019北海道・東北パラ陸上競技選手権（6/15～6/16）</p> <p>②第56回福島県ろうあ者スポーツ大会（5/12）</p> <p>③2019東日本FIDバスケットボールフェスティバル 兼第13回会津レッドブルズ杯バスケットボール大会（11/30～12/1）</p> <p>④第20回福島県障がい者フライングディスク大会（9/15）</p> <p>⑤MSYL・みちのくリーグ戦福島大会（9/8）</p> <p>⑥第11回福島県ボッチャ選手権（1/11）</p> <p>⑦2020年福島県障害者スキー大会（講習会※）（3/1）</p> <p>※雪不足及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、講習会形式にて開催</p>		
参 考			

事業名	⑥ふくしまパラアスリート支援事業	決算額	3,321,060 円
目的	<p>2020年東京パラリンピック等での活躍が期待できる本県選手の輩出や選手の育成・強化を図るため、有望な選手を「ふくしまパラアスリート」として指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や大会へ参加する場合に必要な費用を支援する。</p>		
内容	<p><b>事業概要</b></p> <p>有望な選手を「ふくしまパラアスリート」として指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や大会等へ参加する場合に必要な費用等について支援した。</p> <p>○ふくしまパラアスリート選考委員会開催 期 日：平成31年4月15日（月） 会 場：チェンバおおまち会議室</p> <p>○ふくしまパラアスリート指定者 15名</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①佐藤 智美 （陸上競技）</li> <li>②佐々木 真菜 （陸上競技）</li> <li>③齋藤 由希子 （陸上競技）</li> <li>④庭瀬 ひかり （陸上競技）</li> <li>⑤緑川 秀太 （陸上競技）</li> <li>⑥豊島 英 （車いすバスケットボール競技）</li> <li>⑦森谷 幸生 （車いすバスケットボール競技）</li> <li>⑧吉田 信一 （卓球競技）</li> <li>⑨石河 恵美 （卓球競技）</li> <li>⑩遠藤 裕美 （ボッチャ競技）</li> <li>⑪菅野 真樹 （ボッチャ競技）</li> <li>⑫半谷 静香 （視覚障害者柔道競技）</li> <li>⑬加藤 健人 （5人制サッカー競技）</li> <li>⑭橋本 勝也 （車いすラグビー競技）</li> <li>⑮高橋 剛志 （車いすテニス競技）</li> </ol> <p>○スタートダッシュミーティング開催 期 日：令和元年6月4日（火） 会 場：郡山商工会議所会館 ※(公財)福島県体育協会と合同開催 内 容：指定証交付、決意表明 オリンピック（富田洋之氏）の講話 専門家（東海大学体育学部一般体育研究室非常勤講師）の講義 ほか</p>		
参 考			

【公益事業】（５）障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	①協会広報紙の発行及び障がい者スポーツに関する情報提供	決算額	516,725 円
目的	賛助会員及び会員獲得のため、協会広報紙を発行して情報提供を行う。		
内容	<p><b>事業概要（実績）</b></p> <p>（１）広報紙の発行 平成31年度(令和元年度)の主な行事等について報告・周知するため作成(2,500部)。 関係機関や賛助会員等へ広く配付した。</p> <p>（２）協会リーフレットの作成 協会の取組等をわかりやすく伝え、これまで以上に障がい者スポーツ及び協会に関心を深めてもらうことを目的に作成(10,000部)。 関係機関や賛助会員等に広く配付した。引き続き、イベント等あらゆる機会を捉え、リーフレットを活用した広報を展開していく。</p>		
参考	自主事業		

【公益事業】(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究	決算額	151,885 円
目的	各種会議、講習会等に出席し、最新の情報を元に、安心安全なスポーツ環境の提供を図る。また、前例のない競技者に対し、補装具・競技用具の専門技術者と協同研究をし、日本障がい者スポーツ学会等で発表することで、重度障がい者スポーツの活路を見いだすことを目的とする。		
内容	<p><b>事業概要 (実績)</b></p> <p>(1) 会議等への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会平成31年度総会 開催日：平成31年4月14日(日) 会 場：元気フィールド仙台 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員1名           福島県障がい者スポーツ指導者協議会会長1名</li> <li>・スポーツ団体におけるインテグリティに関する研修会 開催日：令和元年8月30日(金) 会 場：ベルサール日本橋 出席者：福島県障がい者スポーツ協会事務局長1名</li> </ul> <p>(2) 日本障がい者スポーツ学会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第29回日本障がい者スポーツ学会 in 佐賀 開催日：令和2年2月15日(土)～16日(日) 会 場：西九州大学佐賀キャンパス 出席者：福島県障がい者スポーツ医科学委員会委員1名           福島県障がい者スポーツ医科学委員会事務局1名</li> </ul>		
参 考	自主事業		

【公益事業】(7) その他の事業

事業名	①チャレンジド・スポーツ支援事業	決算額	0円
目的	東日本大震災復興支援事業等で、企業からの障がい者スポーツ支援事業について協力する。		
内容	<p><b>事業概要(実績)</b></p> <p>東日本大震災復興支援          東北サンさんプロジェクト団体奨励金を活用した事業</p> <p>(1) サントリーチャレンジド・アスリート奨励金          プロスポーツの試合を観戦し、障がい者の観戦習慣の定着を図る予定だったが、台風19号や新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。          (※次年度以降実施予定。)</p> <p>(2) チャレンジド・アスリートビジット等開催協力          各小学校、中学校での体験教室開催に協力した。</p> <p>①双葉郡富岡町立富岡第一・第二小中学校          ②福島県立ふたば未来学園中学校          ③三春町立中妻小学校</p>		
参考	<p>○東北サンさんプロジェクト          サントリーグループが、「漁業」「子ども」「チャレンジド・スポーツ」「文化・スポーツ」の分野を中心に取り組む復興支援活動。その中の「チャレンジド・スポーツ」分野で支援を受けている。</p>		

【法人会計】（８）協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	決算額	1,815,992 円※
目的	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の会議開催経費他、租税公課、行政財産使用料等の適正な執行を行う。また、法人運営に関わるアドバイザーの派遣費用等を確保し、安定した法人運営を目指す。		
内容	<p><b>事業概要（実績）</b></p> <p>●会議の開催</p> <p>（１）理事会</p> <p>ア 第１回理事会 令和元年６月１０日（月） 平成３０年度事業報告・収支決算について他</p> <p>イ 第２回理事会 令和２年２月２８日（金） 令和２年度事業計画・収支予算について他</p> <p>（２）評議員会</p> <p>ア 第１回評議員会 令和元年６月２４日（月） 平成３０年度事業報告・収支決算について他</p> <p>イ 第２回評議員会 令和２年３月２３日（月）※ 令和２年度事業計画・収支予算について他 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため決議の省略（書面開催）による</p> <p>（３）監事監査</p> <p>令和元年６月７日（金） 平成３０年度事業実績・収支決算について</p> <p>●財務・会計事務専門家（税理士）による助言・指導等</p> <p>菊地義直税理士・行政書士事務所と契約を締結し、財務・会計事務関係の助言及び指導等を受けられる体制を構築した。</p> <p>当年度の実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：令和２年１月２３日（木）９時～</li> <li>・場 所：菊地義直税理士・行政書士事務所</li> <li>・目 的：県からの受託事業に係る消費税の考え方を確認するため</li> </ul> <p>※この他、適宜電話やメール等で相談、助言等を受けた。</p>		
参 考	※「決算額」に記載の金額は、経常外経費とした平成２８年度～３０年度の消費税及び無申告加算税、延滞税の他、当該消費税計算のための税理士報酬は含まれておりません。		